

函館市議会議員 無所属 荒木あけみ ニュースレター

第7-8合併号 / 2016年7月28日 / 発行責任者 荒木明美

荒木あけみ、市議2年目に突入！

荒木あけみ、函館市議会議員になって2年目に入りました。年4回の一般質問を重ね、早いもので1年が経過しました。この間、質問した内容のうち、変化をもたらすことができた事例がありましたので、皆様にご報告したいと思います。

一つ目は、昨年9月定例会で「花見時期に見られる五稜郭公園のブルーシート」について、景観の観点から質問したこと。京都や山梨の事例を挙げながら、自然の景観を損ねない配慮が観光都市として必要ではないかということ述べました。そして、今年の花見時期に五稜郭公園の一角で見られたのは一面の「グリーンシート」(右写真)でした。地面の緑になじむシートの色は、市民・観光客の皆様の目に優しく、景観に溶け込んでいたのではないかと思います。



同様に、9月議会で質問した「市役所で行われている事業評価」について。これまで(第三者による)外部評価結果は公表されていましたが、内部評価(市役所内の事業評価)についても公表を求めました。現在、函館市のホームページ上では内部評価結果が閲覧できます。情報の透明化が一歩進んだと感じています。

12月議会で質問した「函館駅の観光案内所の開所時間」についても、改善が見られました。冬季期間(11~3月)は観光案内所が17時で閉まっていたのを、他の観光都市(札幌、京都、北陸新幹線が開通した金沢など)では19~20時まで開いていること等を例に出し、函館も延長することを提案しました。早速、開所時間は通年で19時迄となりました。

これからも、函館が暮らしやすい街であるように、また函館にいらした方が周りに勧めたくなる街になるよう、活動してまいります。最後のページに連絡先を載せております。ご意見、ご感想などお知らせいただけますとありがたいです！

読みやすいニュースレターを目指して

荒木あけみは、議員活動の報告としてこのニュースレターを発行しています。このような紙面づくりは素人ですが、活動内容を分かりやすくお伝えしたいと思っています。

発行以来、お読みいただいた方から様々な声をお聞きしました。見やすさ・読みやすさを追求して少し構成を変更してみました。いかがでしょうか？



荒木あけみ 一般質問 (3/18 4 回目)

3月18日(金) 13:00～14:00、大綱5点について質問。
詳細は：検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。



大綱 1 財政の現状と展望

荒木：市は臨時財政対策債（以下、臨財債）を毎年計上しているが、どのように考えているのか？借金が増えているだけでは？

荒木の課題⇒臨財債に頼らない財政運営について調べる。

財務部：本市は税収が少なく地方交付税に依存。H27年度の臨財債の発行額は約50億円。発行しないと財政運営は困難。地方交付税の原資不足を臨財債で先送りし、交付税の枠を圧縮している側面はあるが、**これが地方財政を取り巻く現状**と認識。

大綱 2 観光客受入環境整備

荒木：縄文文化交流センターへバスで行った場合、降りてからの道順が不明。案内表示を付けるなど、分かりやすくしてほしい。

荒木の課題⇒早急に対応、との答弁のその後をチェック。

教育委員会：路線バス利用の場合、センターまでの案内標識は十分とはいえない。バス停からセンターまでの英語表記も併記した歩行者目線での**案内板の設置を早急に対応**する。

大綱 3 旅券(パスポート)発給窓口の開設

荒木：旅券を作るには必要書類の取得は市役所、手続きは渡島総合振興局。市役所1か所で旅券発給しては？普段来ない人が来庁するメリット(市民との絆づくり、渡航情報収集)もある。その機会を活かせるのでは？

荒木の課題⇒旅券発給窓口設置について、今後も可能性を探っていく。

市民部：来庁された市民への施策周知、施策へのご意見聴取、市の情報を発信いただく等は大切と理解している。パスポート発給窓口開設には基本的な諸条件の総合的判断が必要。引き続き、**諸条件や申請状況の把握に努める**。

大綱 4 都市計画道路の現状と今後

荒木：少子化、高齢化、人口減少が進み、実状に合う都市計画道路の見直しが必要と感じる。廃止を含めた抜本的な計画見直しが必要では？

荒木の課題⇒全体見直しの取り組み状況をチェックしていく。

都市建設部：都市計画道路の決定・変更は都市計画基礎調査の結果に基づく。見直しはH18年度に道実施の調査結果に基づき行っている。交通環境を取り巻く状況の変化により道路ネットワークの再構築は必要。周辺市町と調査を道に要請する等、**全体見直しに向けた取り組みを進める**。

大綱 5 子どもの貧困対策

荒木：子どもの貧困問題に関して、函館市の子どもを取り巻く環境把握のための詳細な調査が必要では？（道は調査を行うが、道全体＝函館の傾向でもないのでは）

荒木の課題⇒答弁は「詳細に調査」とならず、引き続き訴える。

子ども未来部：子どもの貧困の実態は、生活保護率や児童扶養手当受給率、就学援助認定率等の指標で把握。これらが全国・全道平均より高いなど本市は低所得世帯の割合が高く、憂慮すべき状況。指標の推移を注視、その分析等を検討。**効果的に対策に取り組むため実態把握に努める**。

荒木あけみ 一般質問 (6/23 5回目)

6月23日(木)15:40~16:40、大綱4点について質問。
詳細は：検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。



大綱1 事業評価を中心とした行財政改革と予算編成

荒木：事業評価の結果を予算にどのように反映しているかについて、どう捉えているか。

荒木の課題⇒行財政改革プラン2012はH28年度迄。行革の新しい計画策定の進捗をチェックしていく。

財務部：事業評価は、まず内部からの見直しを進め、H23年度から外部評価も実施。当初は一定の成果があったが、最近は評価の難しい事業が多く財政面から目立った成果なし。現在新たな対応策を検討中。**事業のスクラップアンドビルド等に取り組み予算に反映させていく。**

大綱2 街路樹（街路樹の管理・危険性対策、中心市街地への市の木 植樹）

荒木：函館には植樹後40年以上経過した街路樹がある。全国の倒木事故を聞くと、函館は大丈夫か？と不安に。街路樹の健康診断、安全対策の取り組みは？

荒木の課題⇒街路樹の安全対策について、さらに調査を行う。

土木部：プラタナス・ニセアカシアは毎年、その他の樹種は3~5年間隔で**剪定作業**。**作業時に樹木の老朽化や枯れ・損傷を確認**。倒木の危険性があれば伐採など対策を実施。今年度は堀川広路一部の樹木大木化を抑える剪定・樹木の間引き等を行う。今後も街路樹の状況を見極めながら適切な安全対策に努める。

荒木：交流人口の多い場所で、市の木 オンコのPRをしてはどうか。例えば、今後はこだてグリーンプラザに整備計画があるが、グリーンプラザに植樹するのはどうか。

荒木の課題⇒引き続き、シンボルツリー配置について訴える。

経済部：グリーンプラザBブロックに市の木、オンコをシンボルツリーとして設置。H28年度は函館駅前の回遊性の高いまちづくりのため、グリーンプラザ整備基本計画を策定。今後の策定で**市民の声に耳を傾け、緑の配置を検討**。

大綱3 女性支援（マザーズ・サポート・ステーション）

荒木：市のHPでは、マザーズ・サポート・ステーション（以下マザサポ）とは別に、思春期相談、妊産婦健康相談、乳幼児健康相談といった事業が別に掲載。マザサポがワンストップの窓口では？それら相談業務との関係は？

荒木の課題⇒市のHPの見せ方についてチェックする。

子ども未来部：マザサポは、女性が子育てなど気軽に相談でき、必要な支援につなげる体制を強化するもの。できるだけワンストップで対応できるよう努めているが、ホームページで別の掲示をして分かりにくいということに対して、**分かりやすい見え方を工夫したい**。

大綱4 市電（まちづくりとしての次世代型路面電車システム他）

荒木：市電の軌道敷（レールとレールの間）を見ると、キレイに整備されていても、少し進むと素材が変わっていたり、ガタガタになっている。今後の軌道敷改良の方針は、コンクリートとゴムパッキンで実施とのこと。現在の実施状況と今後の計画はどうなっているか。

荒木の課題⇒軌道敷改良について、進捗を見ていく。

交通局：コンクリート舗装とゴムパッキンを使用した軌道構造は、総延長10.9kmのうち、約3.2kmが施工済で全線の約30%。今年度以降の**LRT整備計画での軌道改良は、H31年度までの総事業費約4億円、約700mを施工し、全線の約36%とする計画**。

未来へつなぐ荒木あけみネット掲載写真 ~Facebook ページより~



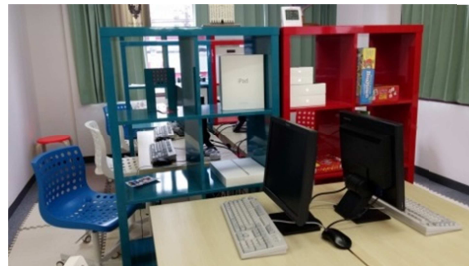
植樹祭 (5/15)

研修、視察

~政務活動費を使用した研修については、市の HP で報告書が公開されています



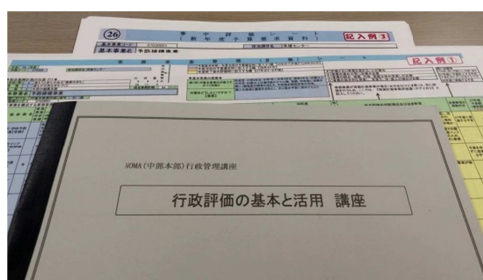
東京/銀座通りのイチイ(オンコ)等、都内
街路樹の調査 (5/13)



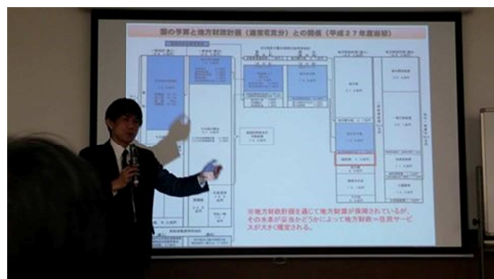
放課後等児童デイサービス見学/川崎 (1/11)



「地方×国政策研究会」子どもの
貧困問題第一人者、阿部彩首
都大学東京教授。(2/1)



「行政評価の基本と活用講座」
稲沢克祐関学大院教授(1/27)



「人口減少時代の自治体財政」
森裕之立命館大教授(2/18)



女性議員パワーアップ集中講座 (1/12)



日本自治創造
学会研究大会
(5/12-13)



村木厚子元厚労事務次官の講演

最後までお読みくださり、ありがとうございます。

荒木あけみ後援会は、ニュースレターの封入・封緘作業等、ボランティアの方々に支えられております。発送作業や事務作業などお手伝いいただける方は、**柵下の連絡先までお知らせください。**1~2時間のお手伝い、自宅での作業など色々な関わり方があります。よろしく願いいたします！

荒木あけみと語る会(議員活動報告会)については、同封の別紙をご覧ください。

ニュースレターの感想、市政へのご意見などお聞かせください！

郵送の方は → 〒040-0035 函館市松風町 17-10 未来へつなぐ荒木あけみネット

FAXの方は → 0138 (76) 3321

メールの方は → araki.akemi@gmail.com

荒木あけみホームページ : <http://www.arakiakemi.jp/>

未来へつなぐ荒木あけみネット Facebook ページ : <https://www.facebook.com/ARAKIAKEMInet>